



資料 7

神奈川県肝炎対策推進計画の取組状況 (令和 5 年度～令和 9 年度)

施策体系

【基本理念】

正しい知識で肝臓を守り、いのちをつなぐ・ささえる神奈川づくり

【全体目標】

ウイルス性による肝炎から肝硬変または肝がんへの移行者を減らす

【柱】

①

肝炎の予防
及び正しい
知識の
普及啓発

②

肝炎ウイルス
検査の
受検の促進

③

肝炎医療を
提供する
体制の確保

④

肝炎医療や
肝炎対策に
携わる
人材の育成

⑤

肝炎患者等及
びその家族等
に対する支援の
強化及び充実

【施策】

次頁以降で各柱ごとに報告

【取組内容】

次頁以降で施策ごとに報告

柱① 肝炎の予防及び正しい知識の普及啓発

個別目標 肝炎に対する認知度 R 5 進捗率 $54.0\% / 52.7\% = 102.5\%$

施策(1)肝炎を予防するための普及啓発

取組内容	項目	目標	実績 (R5)
ア リーフレット等を活用した広報	啓発チラシの作成・配布	配付	配付
イ 若年層を対象とした普及啓発	啓発チラシの作成・配布	配付	—
ウ 医療従事者等への情報提供	肝疾患医療センターにおける医療従事者 研修会の開催	年 5 回	6回
エ 職域における普及啓発の促進	研修会等での啓発資材の配布	年 1 回	—
オ がん教育との連携による普及啓発	がん教育において、肝がんの予防に関する 周知	—	—

柱① 肝炎の予防及び正しい知識の普及啓発

施策(2) B型肝炎ワクチンの定期接種及びインターフェロンフリー治療の推進

取組内容	実績 (R5)
ア B型肝炎ワクチン定期接種の推進	市町村が行うB型肝炎ワクチンの定期接種について、広域自治体としての立場から、県ホームページによる広報等必要な支援の取組
イ インターフェロンフリー治療の推進	市民公開講座、肝臓病教室、肝疾患コーディネーターセミナー等で、情報発信するとともに、医療費補助の制度について周知

施策(3)肝炎患者等に対する偏見や差別の防止

取組内容	項目	目標	実績 (R5)
ア 医療従事者等への啓発	肝疾患医療センターにおける医療従事者研修会の開催	年5回	6回

取組内容	実績 (R5)
イ ホームページ等での普及啓発	差別を受けることがないよう「日常生活での感染予防の注意点」等をホームページや肝臓手帳に掲載

柱② 肝炎ウイルス検査の受検の促進

個別目標 検査受検率の向上 R 5進捗率 24.8% / 27.0% = 91.9%

施策(1)肝炎ウイルス検査に関する普及啓発

取組内容	項目	目標	実績 (R5)
ア リーフレット等を活用した広報活動の強化等	受検勧奨チラシの作成・配布	配付	配付
取組内容	実績 (R5)		
イ がん検診と連携した受検促進	がん検診企業研修で、肝炎ウイルス検査に関する周知を実施		

施策(2)肝炎ウイルス検査の実施

取組内容	実績 (R5)
ア 特定感染症等検査事業における肝炎ウイルス検査の実施	B型(HBs抗原検査) : 2件(医師会)、12件(保健福祉事務所) C型(HCV抗体検査) : 0件(医師会)、12件(保健福祉事務所)
イ 健康増進事業における肝炎ウイルス検診の実施	個別勧奨を積極的に推進し、未受検者の受検の促進

柱② 肝炎ウイルス検査の受検の促進

施策(3)職域における受検勧奨

取組内容	項目	目標	実績 (R5)
ア 健診機関との連携による受検勧奨	啓発チラシの作成・配布	配付	—
イ 事業主等への啓発	リーフレットの配布や研修会の開催等	年1回	—

柱③ 肝炎医療を提供する体制の確保

個別目標 フォローアップ実施市町村数 R 5 進捗率 $27/29 = 93.1\%$

施策(1)肝疾患診療ネットワークの充実・強化

取組内容	項目	目標	実績 (R5)
ア ネットワークのあり方検討等	肝疾患医療センター、肝臓専門医療機関における医療提供体制の状況を定期的に把握	2年に1回	肝臓専門医療機関現況調査

施策(2)検査陽性者のフォローアップ

取組内容	項目	目標	実績 (R5)
ア フォローアップ体制の充実等	陽性者フォローアップ事業を未実施の市町村に対して、実施の検討を依頼	年1回	1回
イ 「肝臓手帳」等による周知	肝臓手帳作成配布、ホームページへの掲載	配付	配付

柱④ 肝炎医療や肝炎対策に携わる人材の育成

個別目標 コーディネーター配置市町村数 R 5 進捗率 22/21 = 104.8%

施策(1)医療従事者のスキルアップ

取組内容	項目	目標	実績 (R5)
ア 医療従事者研修会の実施	肝疾患医療センターにおける医療従事者研修会の開催	年5回	6回

施策(2)肝炎対策に携わる人材の育成

取組内容	項目	目標	実績 (R5)
ア 肝疾患コーディネーターの養成及び配置	肝疾患コーディネーターを養成する研修会を実施	年5回	6回

柱⑤ 肝炎患者等及びその家族等に対する支援の強化及び充実

個別目標 相談したいが相談できないでいる患者の割合の減少 (参考値) R 2 10%

施策(1)相談支援

取組内容	項目	実績(R5)
ア 肝疾患医療センターにおける相談事業	肝疾患医療センターにおける相談センターの設置	5施設で運用

取組内容	項目	目標	実績 (R5)
イ 肝疾患コーディネーターによる相談窓口案内の支援	肝疾患コーディネーターセミナーにて、肝臓手帳及び受検勧奨チラシを配布	配付	配付

柱⑤ 肝炎患者等及びその家族等に対する支援の強化及び充実

施策(2)肝炎患者等に対する情報提供等

取組内容	項目	目標	実績 (R5)
ア 相談会、講演会の開催	講演会、相談会を開催	年1回	1回
取組内容	実績 (R5)		
イ ホームページ等での情報提供の充実	肝炎患者等に対する情報提供を充実させるため、肝臓手帳の内容を工夫し、作成後にホームページに掲載		
ウ 治療と仕事の両立に係る情報提供等	肝疾患コーディネーターセミナーにて、相談窓口等を周知		

柱⑤ 肝炎患者等及びその家族等に対する支援の強化及び充実

施策(3)肝炎治療医療費助成制度等の実施

取組内容	実績 (R5)
ア 肝炎治療医療費助成制度の実施	申請数 : 5359件 受給者証交付数 : 5350件
イ 検査費助成制度の実施	精密検査費助成数 : 31件 定期検査費助成数 : 117件
ウ 肝がん重度肝硬変助成制度の実施	申請数 : 23件 参加者証交付数 : 17件

併せて、次の取組みを実施

取組内容	対応する施策等
ア 「知って肝炎プロジェクト」神奈川県知事表敬によるP R（令和5年8月22日）	柱① 肝炎の予防及び正しい知識の普及啓発 施策（1）肝炎を予防するための普及啓発 柱② 肝炎ウイルス検査の受検の促進 施策（1）肝炎ウイルス検査に関する普及啓発
イ 生命保険株式会社との包括協定に基づく県政情報の発信 顧客に肝炎ウイルス検査受検勧奨リーフレットを配布	柱① 肝炎の予防及び正しい知識の普及啓発 施策（1）肝炎を予防するための普及啓発 柱② 肝炎ウイルス検査の受検の促進 施策（1）肝炎ウイルス検査に関する普及啓発 （3）職域における受検勧奨
ウ 手術前検査等での肝炎ウイルス検査に係る結果説明の状況調査（県内335病院） 調査結果の送付とともに、検査結果に係る文書説明、精密検査や治療の勧奨を依頼	柱③ 肝炎医療を提供する体制の確保

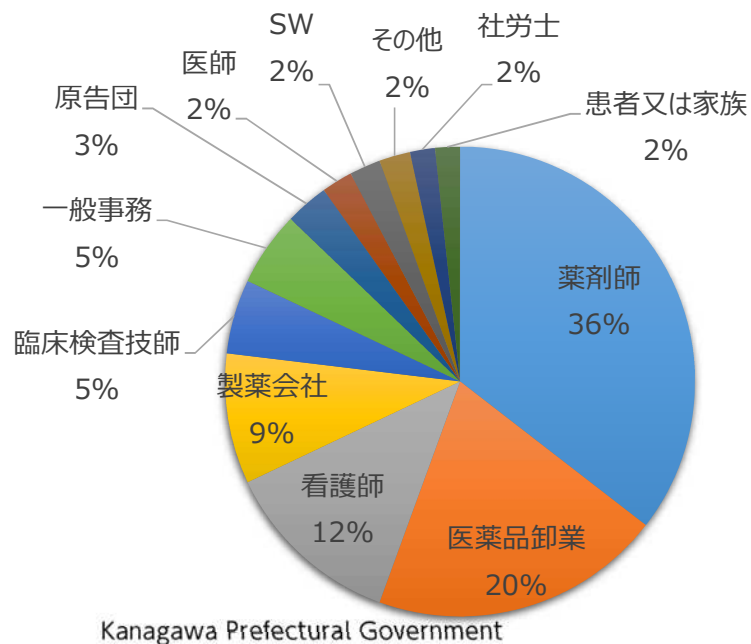
かながわ肝疾患コーディネーター認定者の活動内容について

令和5年6月実施の活動内容報告

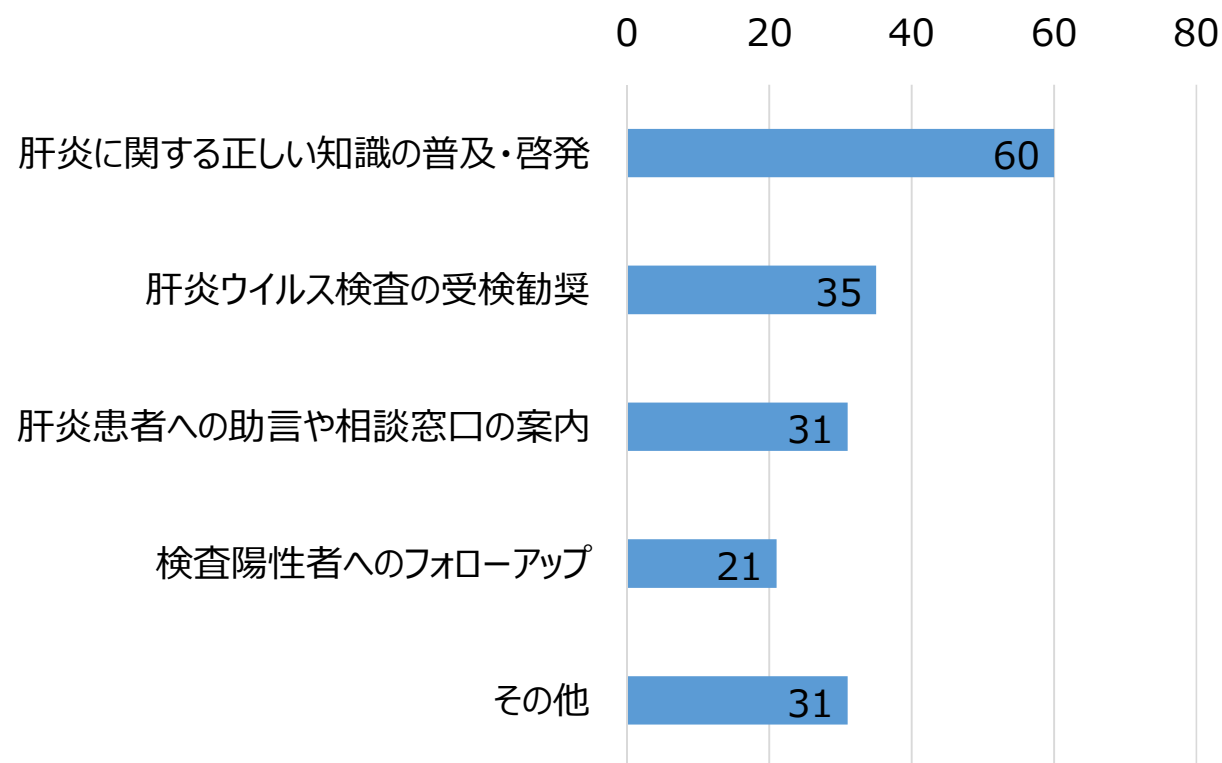
回答者数と回答率

対象者数	回答数	回答率
591	237	40.1%

回答者数の職種の内訳について



活動されていると回答された方の活動内容について（複数回答可）



かながわ肝疾患コーディネーター認定者の活動内容について

具体的な活動内容

活動内容	回答
ア 肝炎に関する正しい知識の普及・啓発	(薬剤師) ○ 県の啓発資料を用いて、患者様に説明 ○ 検査値に関する知識、肝炎の病態や治療に関して説明 ○ 肝炎ウイルスがうつるんじゃないかと心配していた方に感染経路について説明 (製薬会社) ○ 医薬品卸の方への、肝炎に関する正しい知識の普及・啓発 ○ 肝疾患コーディネーターの役割・意義などを説明・勧奨
イ 肝炎ウイルス検査の受検勧奨	(看護師) ○ 定期健康診断で肝炎ウイルス検査を受けたことがない方への受検勧奨 (薬剤師) ○ 肝機能数値異常の患者さんに、必要に応じて受検勧奨 (臨床検査技師) ○ 市町村で実施されている肝炎検査の受診勧奨

かながわ肝疾患コーディネーター認定者の活動内容について

具体的な活動内容

活動内容	回答
ウ 肝炎患者への助言や相談窓口の案内	(看護師) ○ 内服薬忘れずに服用と定期的受診の促し (薬剤師) ○ 服薬の継続指導、体調確認 (ソーシャルワーカー) ○ 社会資源活用や相談室活用のご案内 (一般事務) ○ 電話や窓口にて肝炎患者やその家族の相談対応 ○ 行政窓口などのご案内
エ 検査陽性者へのフォローアップ	(薬剤師) ○ 患者さんに継続治療できてるかなどアフターフォロー (看護師) ○ 居住地域の肝臓専門医療機関を調べ、受信勧奨 (一般事務) ○ 陽性者に専門外来への受診案内及び予約手続き